


平成27年度進行管理・評価シート
斑鳩町歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用(特別用途地区の指定)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	3
2 歴史的建造物修景事業	4
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	5
2 文化財の修理・整備	6
3 文化財の調査	7
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「出店80店 にぎわい 斑鳩で町歩きイベント」他2件	8
⑥その他(様式1-6)		
1 『歴史まちづくり・観光まちづくり』に向けた 官民協働のまちおこし	9
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	10

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	庁内においては、計画策定段階の庁内組織を継承・発展させた関係課による推進体制として斑鳩町歴史まちづくり推進調整会議を設置し、文化財部門(教育委員会事務局生涯学習課)とまちづくり部門(都市建設部都市整備課)は、より密度を高めた連絡・調整を行う。また、国・県等の関係機関との協議を行うとともに、適切な支援を得るように努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①本計画の着実な推進に向けて、全庁的な連携を図るため、「斑鳩町歴史的風致維持向上計画における各種事業の実施に向けた実施管理計画の策定に伴う政策企画調整幹事会議、及び政策企画調整委員会をそれぞれ2回実施した。 ②実施管理計画に基づき各事業の進捗管理の共有を図り、着実な事業推進を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず広く庁内の連携を取ることが必要である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>●第3回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (平成27年5月18日)</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>●第4回 政策企画調整幹事会議・調整員会議 (平成27年10月28日)</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施管理計画について ・今後のスケジュールについて </div>			
<p>《政策企画調整幹事会議・調整員会議の様子》</p> 			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度
都市計画の活用(特別用途地区の指定)		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上のために歴史的建造物の保存・活用や空家・空地等を活用したまちあるき拠点の整備が求められ、そのためには、現行の都市計画の用途の緩和が必要であることから、特別用途地区の適用を検討しており、都市計画の適用については、まちづくり部門(都市建設部都市整備課)が担当する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年10月1日施行の法隆寺周辺地区特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例及び斑鳩町における特別用途地区の区域内における建築行為等に係る事前協議に関する要綱を運用し、当該区域内及びその周辺の良好な住環境との調和を図りながら、歩いて楽しむことができる店舗や飲食店等の立地を促し、もって活力とにぎわいのあるまちづくりを推進している。

進捗状況 ※計画年次との対応

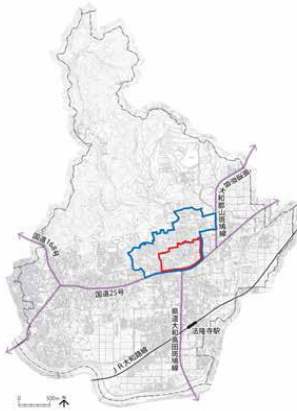
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

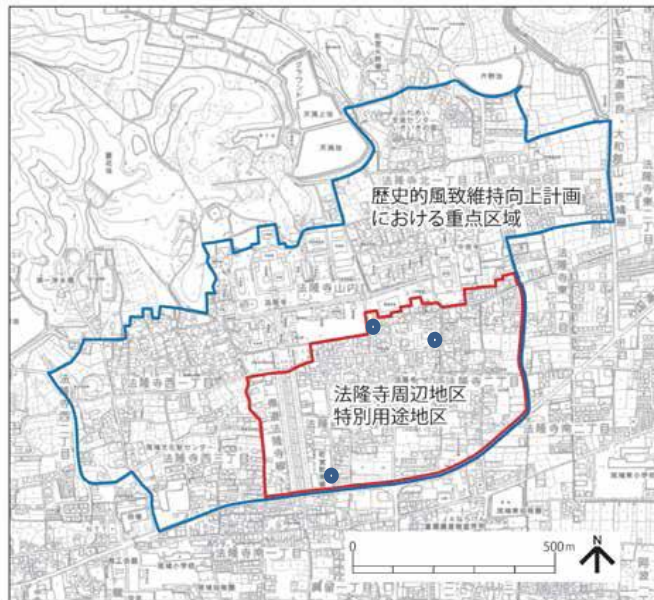
状況を示す写真や資料等

- 地区の名称…法隆寺周辺地区特別用途地区
- 地区の面積…24.9ha
- 要綱に基づく事前協議件数
平成26年度 2件
平成27年度 1件

位置図



拡大図



凡例 ● 要綱に基づく事前協議物件所在位置

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成35年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物として指定を予定している建造物については、順次、その活用とあわせて修理・修景を行う。事業にあたっては、建物調査を行い、伝統的様式の復原を基本として基礎調査をふまえ、それぞれの建造物の特色に即した修理・修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金を活用し、歴史的風致形成建造物として指定している井上家住宅(旧北畠男爵邸)は主屋、外構、辰己家住宅については、茶屋の改修による修景整備を行い、沿道が良好な歴史的景観になり、魅力あるまちあるきができるよう整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■ 井上家住宅(旧北畠男爵邸)



実施前

実施後

■ 辰己家住宅



実施前

実施後

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
歴史的建造物修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成35年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 主な歩行者ルートとなるところを中心に、外観の修景整備を行うことで歴史的町並みを整える。合わせて、歴史的町並みの連続性を阻害している建物や塀、空地などについては、歴史的町並みに調和するよう修景を行う。修景にあたっては、策定予定のガイドラインに沿って、自然素材を用いた地域の伝統的デザインを踏襲することを基本とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法隆寺周辺地区における建築物や外構に対し、望見可能な前面部分の修景工事に伴う費用の一部を助成し、町並みの連続性を創出している。年間に複数件を継続して修景整備を行っていく。
 平成27年度は、5件の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

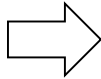
状況を示す写真や資料等

■ 実施例

実施前



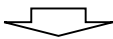
実施後



実施前



実施後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

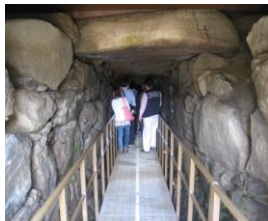
計画に記載している内容
 斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にも重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆文化財の普及・啓発など
 - ・史跡藤ノ木古墳石室特別公開の開催 ①春季(2,687人/5月4日・5月5日の2日間) ②秋季(1,745人/10月31日・11月1日の2日間)
 - ・斑鳩文化財センター(利用人数:12,458人/年)における展示会の開催
 - ①春季企画展「法隆寺式軒瓦の登場 ー7世紀後半頃の斑鳩の寺々の様相ー」(1,418人/5月28日～6月30日の30日間)
 - ②秋季特別展「藤ノ木古墳と大和の横穴式石室 ー出土品との比較から見えるものー」(3,054人/10月29日～11月29日の32日間)
 - ③速報展「斑鳩の文化財展ー平成26年度実施の調査成果展ー」(395人/7月23日～8月11日の18日間)
 - ・講演会・講座の開催
 - ①春季企画展開催に伴う記念講演会「法隆寺式軒瓦の成立と伝播」(100人/6月7日)
 - ②秋季特別展開催に伴う記念シンポジウム「斑鳩 藤ノ木古墳の30年間の調査・研究成果をふりかえる」(200人/11月3日)
 - ・講座・教室等の開催
 - ①生涯学習講座「歴史講座」(35人/3月27日)
 - ②「大和発掘!斑鳩考古学セミナー」(延べ190人/6月25日～2月25日の全5回)、
 - ③「こども考古学教室」(全3回) 1. こども勾玉づくり教室(32人/7月26日)、2. こども鏡づくり教室(20人/8月1日)、3. こども1日学芸員体験(6人/8月21日)
 - ④「斑鳩考古学講座」(全3回) 1. 勾玉づくり講座(5人/7月26日)、2. 出土遺物整理作業体験(3人/9月20日)、
 - 3. 文化財めぐり(11人/12月6日)
 - ・文化財資料図書の刊行
 - ①秋季特別展展示図録
 - ②『斑鳩文化財センター年報 第5号』
 - ・奈良大学・県立法隆寺国際高校による藤ノ木古墳石室特別公開のボランティア活動
 - ・文化財の保存・活用に関わる住民や各種団体によるボランティア活動
 - ①法隆寺等における観光ガイド
 - ②斑鳩文化財センターにおける受付・解説
 - ③藤ノ木古墳の除草作業などのボランティア活動
 - ・和楽美の会①6月5日(8人)②10月9日(7人)③3月29日(5人) ・西里老人クラブ①7月24日(19人)
 - ②10月16日(25人) ・斑鳩ユネスコ 10月29日(14人) ・斑鳩西小学校 11月12日(66人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の普及・啓発に関する事業を推進して行く。

状況を示す写真や資料等



史跡藤ノ木古墳石室特別公開



斑鳩文化財センターにおける展示会



春季企画展開催に伴う記念講演会



こども考古学教室



史跡藤ノ木古墳ボランティア活動

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
文化財の修理・整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理・整備・など
- ・史跡中宮寺跡の整備事業における遺構(基壇)や調整池等の整備工事の実施
 - ・法隆寺における国宝中門等の建造物の保存修理工事の実施
 - ・法隆寺等における文化財防火デー合同防火訓練の実施など

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の修理・整備に関する事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等



史跡中宮寺跡整備工事



法隆寺保存修理工事(国宝中門)



文化財防火デー合同防火訓練

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
文化財の調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の調査など
- ・町内遺跡(中宮寺跡周辺遺跡等)における発掘調査の実施と町内遺跡の発掘調査概要報告書の刊行
 - ・史跡三井瓦窯跡出土遺物整理作業の実施
 - ・町指定文化財候補の調査として、大作家歴史資料調査の実施や春日古墳調査検討委員会の開催(第1回:11月20日 第2回:3月24日)
 - ・寺山古墳群測量調査や斑鳩大塚古墳発掘調査における奈良大学との共同調査の実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の調査に関する事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等



発掘調査(中宮寺跡周辺遺跡)の実施



遺物整理作業(史跡三井瓦窯跡)の実施



春日古墳調査検討委員会の開催



奈良大学との共同調査(斑鳩大塚古墳)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
『出店80店 にぎわい 斑鳩で町歩きイベント』	平成27年11月24日	朝日新聞(承諾書番号 A16-0769)
『法隆寺門前に複合店』	平成28年1月25日	毎日新聞
『地域の活性化を進める奈良県斑鳩町の取り組み』	平成28年3月号	ナント経済月報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業や関連事業の情報発信を行うことで、本町の「歴史まちづくり・観光まちづくり」への取り組み状況について、広く周知することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	整備の進捗状況や関連事業について、報道機関の積極的な活用をすすめていく。

状況を示す写真や資料等



「地域の活性化を進める奈良県斑鳩町の取り組み」について



評価軸⑥-1
その他

項目		評価対象年度	平成27年度
『歴史まちづくり・観光まちづくり』に向けた官民協働のまちおこし			
計画に記載している内容	歴史的風致の価値や魅力を引き出すことを意図しながら、広く情報発信を行い、歴史的風致を生かす観光振興に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
斑鳩の新たな取組みとして、平成27年11月23日(月・祝)～29日(日)までの1週間(7日間)において、観光客の誘客とふるさとに対する愛着、帰属意識を高め、様々な面から観光産業の魅力を発信するため、産・学・官が協力して「いかるがWeeeeeek」を開催し、各日を各種団体がそれぞれ担当してイベントを実施した。また、平成28年1月23日(土)に法隆寺東大門から歩いてすぐの場所に、空家を利活用した、奈良県産品のセレクトショップ・カフェ雑貨店・チャレンジショップが併設された複合店舗「まほろばステーションikarucoki」がオープンし、斑鳩のお土産を買い求める店舗が新たに登場した。			
進捗状況 ※計画年度次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	平成28年度においても、引き続き「いかるがWeeeeeek」を実施する。		

状況を示す写真や資料等



いかるがWeeeeeek初日



いかるがWeeeeeek2日目 『夜空から見る「いかるがの里」の様』



複合店舗 「まほろばステーションikarucoki」



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:斑鳩町歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時:本年度の開催はなし(以下は会長の総括コメント)	
(コメントの概要)	
<p>本計画により、民間の建物修理・修景事業が順調に実施されつつあり、あわせて、都市計画による特別用途地区の指定と連動した歴史的建造物を活用した、まちあるき観光の拠点となる店舗が順次開設されて、これまでにない回遊性が創出される可能性が強まっていることは高く評価されます。</p> <p>一方では、歴史的環境にふさわしい電線類地中化、道路高質化等、公共空間の整備についてはまだ計画途上にあり、早期の事業化に向けての取り組みが望まれるところで</p> <p>あわせて、民間による修景や空家等活用が地道に進められている動きを、最近の「歴史・文化観光志向」や「インバウンド観光」の傾向にあわせて加速させるためには、未利用の公共・公益的な土地活用による、歴史環境にマッチした集客力の強い魅力施設導入が期待されます。</p>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的町並みの連続性を阻害している建物の所有者に、積極的な修景整備の実施を働きかけていく。 	